

< 担い手への農地集積等を実施している事例 >

担い手を核とし、集落をあげて農地を守る

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	おきぐんおきのしまちょうとうごう 島根県隠岐郡隠岐の島町東郷			
協定面積 10.6ha	田(100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 90万円	個人配分			80%
	共同取組活動 (20%)	役員報酬 会議費 共同作業賃金・燃料費		1% 11% 8%
協定参加者	農業者 26人			

2. 取組に至る経緯

当地区は平成13年度から中山間地域直接支払制度に取組み、個々の農家で農地の管理を行ってきた。平成17年度からの新対策を迎えるにあたり、当時、地域の高齢化率は、約50%と島後地域においては、比較的低いものの、今後の若返りや、農業従事者が増える見込みはまったく無い状況であった。また、当地区の水田は県道に面しており、農業従事者の高齢化とともに、耕作放棄地が発生するようになり、景観上の問題も発生しつつあった。

地域の農地を守りたいという気持ちは住民の中に根強くあるものの、個々の農家での対応は極めて厳しい状況であった。そこで、地域内の担い手に基幹的農作業を委託することにより、農地の荒廃を防ぎ、また高齢者もできる限り農作業に関わりを持つことで、地域内の農地を地域全体で守る活動を行うこととした。

3. 取組の内容

取組みに当たっては地域内での話し合いを基調とし、地区内の担い手に基幹的農作業の受委託を進めるとともに、高齢者もできる限り農作業に関わりを持ち、地域全体で農地の荒廃を防ぐ。

また、担い手にのみに頼ることなく、地域内の畜産農家が中心となり、飼料作物の作付や、自己保全農地の管理を行い、担い手の負担を軽減することで、取り組みの継続を図る。



基幹的作業受委託：乾燥調整

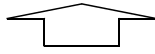


基幹的作業受委託：稲刈り

[集落の将来像]

当集落では、これまで引き継いできた美しい水田環境を守り、これを次世代へ残し、伝えるための集落づくりを推進します。

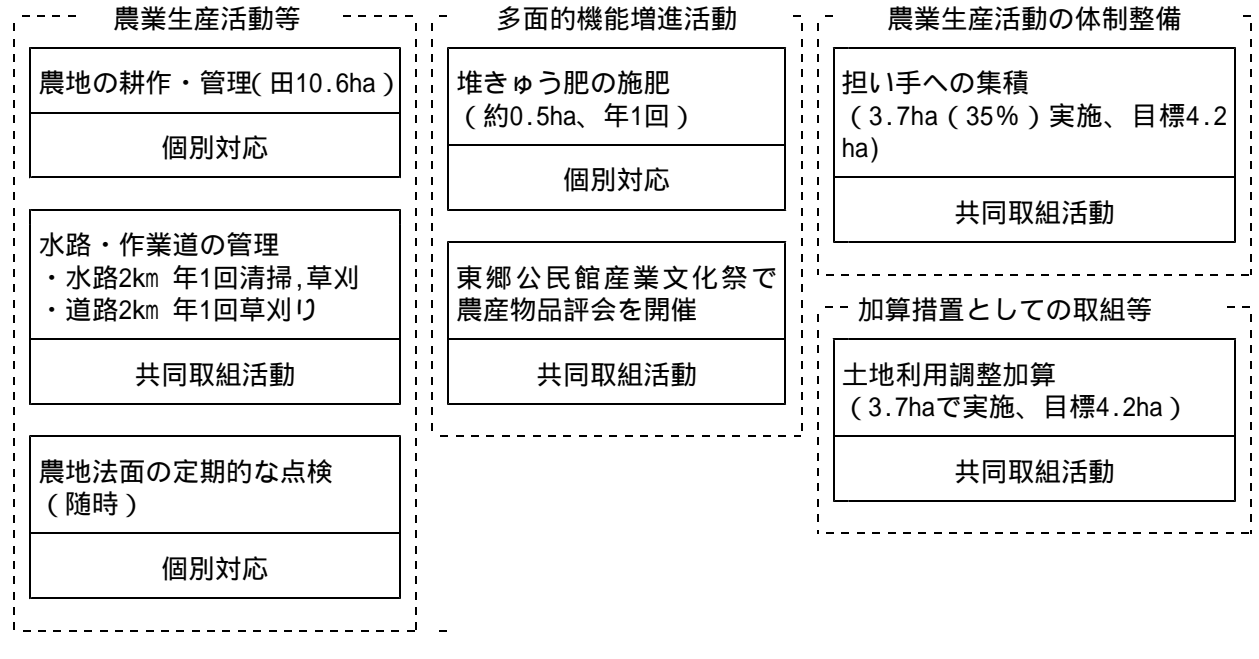
担い手への農地集積を図ることで安定的な営農の実現を目指します。



[将来像を実現するための活動目標]

1. 認定農業者へ基幹的農作業の受委託を推進
2. 認定農業者へ利用権設定を推進
3. 高齢者も、できる範囲で農作業に関わりを持つ形での営農を推進
4. 自分の農地は自分で守るという気持ちを大切にしながらも、一人で抱え込まずに集落内での話し合いや情報交換などによる解決を基調とした集落全体での営農を推進

[活 動 内 容]



4. 取組による変化と今後の課題等

「地域の農地を守りたい」という住民の思いは、取組みとともに、より強いものとなり、担い手への集積も年々増加している。しかし、農業従事者の高齢化は年々進む一方、新たな農業従事者は見つかっていない。今後、農地を守る取組みを継続するうえで、現在の担い手に頼るだけでは、限界が生じる恐れがあるため、その対応に向け、集落全体での取組みを強化するとともに、新たな農業従事者の発掘に向け集落をあげて取組む必要がある。

[平成20年度までの主な成果]

担い手への農地集積 (当初1.0ha、目標4.2ha、H19実績3.7ha)